



中小企業支援金融機関から見た企業支援（生き残り策）

1. 中小企業を取り巻く主な環境の変化
 - (1) 金融機関を中心に海外の金融システムが導入（資金調達難が発生）
 - (2) 時価会計制度の導入（過少自己資本問題が顕在化・資金調達難の発生）
 - (3) 少子高齢化の進展（内需の減少・雇用の確保難）
 - (4) 経営者の高齢化（後継者難・相続問題）
 - (5) 急変する経済環境（経済のグローバル化・事業の海外移転が増加）

2. これからの中小企業の課題
 - (1) 金融機関の自己査定に対応できる CF 重視の経営力の強化（本業以外の経営力を強化・管理会計の活用強化）
 - (2) 自己資本の強化（資本政策を含む）
 - (3) 内需の減少による海外戦略の強化（外需の取り込み・技術等ノウハウの承継）
 - (4) 世代交代等事業承継戦略の強化（相続倒産・後継者難）
 - (5) 事業転換・業種転換等による対応力の強化（M&A 等のイメージの悪化）

3. 重点支援策
 - (1) 中小企業診断士等経営コンサルタントの活用支援
 - (2) キャピタル等直接金融機能による支援
 - (3) 公的機関や専門機関との連携強化による支援
 - (4) 事業承継支援センターによる支援
 - (5) M&A・連携・異業種交流等による支援

4. 態勢整備の依頼事項
 - (1) 活用できる診断士の態勢整備・財務諸表の信頼度強化のための態勢整備
 - (2) 10%ルールの規制を弾力化
 - (3) 検討中
 - (4) ファミリービジネスに対する相続税の軽減
 - (5) M&A の取扱者の国家資格化等による信頼度の向上